

資料配布の場所

1. 国土交通記者会
2. 国土交通省建設専門紙記者会
3. 国土交通省交通運輸記者会
4. 筑波研究学園都市記者会
5. 横須賀市政記者クラブ

令和4年12月14日同時配布



令和4年12月14日
国土技術政策総合研究所

国総研資料第1225号『港湾計画のマクロ予測にかかる品目別コンテナ貨物量将来予測手法の比較分析』を刊行します！

港湾計画では、港湾の能力として、10～15年程度の将来における取扱貨物量を定めることとなっています。取扱貨物量のマクロの将来予測手法として、経済社会指標との相関分析及びトレンド分析の手法が用いられるが、既往の文献の中では、予測手法間の比較分析の前例は見当たらない状況にあります。

本資料では、日本全体の貨物量実績値を用いて、それぞれの手法で最新の実績値を予測し、その結果により、手法間の比較分析を行い、各手法の特徴や各手法を用いる上での留意点をとりまとめました。

<目次>

1. 序論
2. 予測における参考資料
3. 港湾計画における貨物量予測
4. 予測手法の比較分析方法
5. 比較分析の結果と考察
6. 結論

本資料は、国総研ホームページで公開しています。

ダウンロード先URL：<http://www.nilim.go.jp/lab/bcg/siryou/tnn/tnn1225.htm>

(問い合わせ先)

国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾システム研究室
研究員 中川 元気 (内線 3323)

TEL：046-844-5028 FAX：046-844-6029 E-mail:nakagawa-g86s3@mlit.go.jp